

令和4年度教育事業「はなやま通学合宿～自然の家から学校へいこう！～」事業報告

- 1 趣 旨 家庭から離れて、他の学校や異学年の仲間との共同生活を送ることにより、基本的な生活習慣を身に付けるとともに自立心や社会性、協調性等子供たちの「生きる力」を育む。
また、同一中学校区の仲間たちとの交流を通して中1ギャップ解消に向けての素地を養う。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 共 催 栗原市教育委員会
- 4 期 日 令和4年12月8日（木）～10日（土）【2泊3日】
- 5 参加者 栗原市立築館小学校4～6年生の児童28名
栗原市立宮野小学校4～6年生の児童 4名
栗原市立一迫小学校4～6年生の児童10名
栗原市立花山小学校4～6年生の児童 1名 合計43名
- 6 場 所 国立花山青少年自然の家
- 7 日 程

令和4年度「はなやま通学合宿」日程表

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
1 日 目													迎え	オリエンテーション	夕食	はなやまタイム① 学習・交流等	入浴 休憩 準備	就寝			
	自然の家職員&ボランティア																				
2 日 目	起床	洗面・清掃	つどい	朝食	出発	各学校での学習・生活 ※登下校については自然の家のバス等で送迎する。										迎え	オリエンテーション	夕食	はなやまタイム② 学習・交流等	入浴 休憩 準備	就寝
	自然の家職員&ボランティア				学校職員										自然の家職員&ボランティア						
3 日 目	起床	洗面・清掃	つどい	朝食	退所準備	みんなでもちつきをしよう！							別れのつどい	解散							
	自然の家職員&ボランティア																				

8 活動の内容について

【12月8日（木）1日目】「出会いのつどい、はなやまタイム①（学習、飛ぶ種の実験）」



【12月9日（金）2日目】「食事風景、はなやまタイム②（ミニ運動会）」



【12月10日（土）3日目】「野外炊事（もちつき体験）、別れのつどい」



9 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：77% やや満足：21% やや不満：2% 不満：0%

参加者43名に対して行ったアンケートは、満足群が多く、概ね好評であったといえる。

(2) 参加者の声

- ・ボランティアさんや友達としゃべるのが楽しかった。
- ・とても楽しく、みんなと交流できてよかった。
- ・みんなと協力しておいしいおもちを食べることができた。
- ・友達といろいろな活動ができてよかったし、みんなと宿題をして集中して取り組むことができた。
- ・もちつきはいろいろな種類があっておいしかったし、食べたことがないもちも食べることでよかった。
- ・ミニ運動会で体をたくさん動かしたし、いろいろな競技があって楽しかった。
- ・友達とおしゃべりをしながら学校に登下校できて、楽しい思い出ができた。

(3) 成果

- ・事後アンケートでは、58%の児童が当施設の事業に何らかの形で参加した経験があり、通学合宿にも連続で参加している児童が多くいた。中には、3年連続で参加し、毎年参加を楽しみにしている児童も多くおり、本事業を継続している意義を感じることができた。
- ・ミニ運動会やもちつきでは、違う学校の友達と協力し合い、グループで声を掛け合いながら運動を楽しんだり、おいしいお餅をつこうと互いに手を貸し合って炊事をしたりする姿が見られた。
- ・家を離れて自然の家に泊まり、共同生活をし、普段できない体験をすることができたことは、参加した児童にとって大変有意義な活動になったといえる。

(4) 課題

- ・対象の4校すべてから参加申し込みがあったものの、学校により参加者の学年、人数にばらつきがあり、中には参加者1名の学校もあった。事業の目的の一つである「同一中学校区の仲間たちとの交流を通して中1ギャップ解消に向けての素地を養う。」という点で課題が残る。広報の仕方を工夫して、参加者ができるだけ均等になるようにしていきたい。